

令和4年度 指定管理者モニタリング年度評価シート [山形市馬見ヶ崎プール]

施設概要			
施設名(所在地)	山形市馬見ヶ崎プール (山形市小白川町字川原1237番地)		
施設目的	市民のレジャー活動や健康増進の活動拠点として、健康で豊かな市民生活の形成に寄与することを目的とする施設。		
指定管理者(選定方法)	一般財団法人 山形市都市振興公社(選定方法:公募)		
指定期間	令和3年4月1日～令和13年3月31日		
指定管理者が行う業務	1 プール施設等の管理に関する業務 2 プールの運営に関する業務 3 自主事業の実施に関する業務 等		
利用料金制導入の有無	有		
施設所管課	まちづくり政策部公園緑地課		
評価区分	評価項目	評価ポイント	評価
管理運営の状況	人員配置	人員配置は過不足なく適切に行われたか	A
	有資格者の配置	必要な有資格者の配置は適切に行われたか	A
	資質向上	職員の資質向上を図る取り組みは適切に行われたか	A
	受付・接客	接客向上を図る取り組みは適切に行われたか	A
	平等利用	特定の利用者を有利または不利に扱うことなく、取り扱いが適切に行われたか	A
	利用者サービス向上	利用者サービス向上を図る取り組みは適切に行われたか	A
	広報	利用者への広報は情報提供として適切に行われたか	A
	備品・建物等の管理	備品・建物等の財産の管理は適切に行われたか	A
	安全対策	利用者の安全確保の取り組みは適切に行われたか	A
	危機管理	緊急時に備えての研修・訓練等は適切に行われたか	A
	事故・苦情の対応	事故・苦情に対する対応は適切に行われたか	A
利用の状況	開館日数	開館(日数)は適切に行われたか	A
	開館時間	開館(時間)は適切に行われたか	A
	利用人数	利用人数は目標を達成したか	B
事業実施の状況	実施回数	実施回数は目標を達成したか	B
	参加者数	参加者数は目標を達成したか	B
	事業内容	事業の内容は施設の設置目的にあう適切なものであったか	A
満足度の調査	利用者満足度の把握	アンケート等を実施して利用者満足度の把握は適切に行われたか	A
	利用者満足度向上	アンケート結果等により利用者満足度向上を図る取り組みは適切に行われたか	A
維持管理の状況	清掃(日常)	業務は計画どおり適切に行われたか	A
	清掃(定期)	業務は計画どおり適切に行われたか	A
	保守点検(日常)	業務は計画どおり適切に行われたか	A
	保守点検(定期)	業務は計画どおり適切に行われたか	A
	保安警備	業務は計画どおり適切に行われたか	A
	修繕等維持管理	修繕等は適切に行われたか	A
収支の状況	利用料金	利用料金は目標を達成したか	B
	利用料金の收受	利用料金の收受は規定の料金を適正に收受するなど適切に行われたか	A
	利用料金の減免	減免の申請手続がなされた場合、処理は適切に行われたか	A
	経費の縮減	経費縮減についての取り組みは適切に行われたか	A
	収入の増加	収入増加についての取り組みは適切に行われたか	A

成果のあった主な取り組み

市保健所及び所管部課との打ち合わせ、類似施設との情報交換を密に行い、感染症拡大防止に係る対策を講じながら、施設の利用制限を段階的に緩和するなどして、適切な運営を行った。また、ボイラー更新工事に伴う休場にあたっては、利用者への広報、設備機器等の保守、プール再開の立ち上げを滞りなく行った。

主な課題や今後の対応

コロナ禍の制限が解除され、マスクを外した利用が活発になる傾向があるが、引き続き換気・消毒など十分な安全対策に努めていく。また、特に利用者の回復が見込まれる夏期においては、所管部課等と連携を取りながら、情勢に応じ、安全を最重視した柔軟な対応できるよう、ハード面・ソフト面の両面で運営の工夫を図っていく。

評価コメント

令和4年度についてもコロナ禍が続いていたが、関係機関と密に協議を重ね、感染拡大防止対策を講じながら段階的に利用制限を緩和するなど適切な運営が行われていた。

利用料金収入が目標まで届いていない状況が続いている。新規受講者の取り込み・光熱水費の節約、使用料を抑えるなど最大限の対策に努めてほしい。

今後も積極的にアンケートを実施し、利用者のニーズや要望を反映し、入場者数の増加及び利用者満足度向上につなげてほしい。

利用者の安全を第一に考え、日常及び定期点検を徹底し、来園者にとって憩いの場となるよう努めてほしい。